

[発行] ゆたかクラブ豊橋(豊橋市老人クラブ連合会)

[印刷] 株式会社ニチコミ 静岡市駿河区南町10-6 村上駅南ビル7階 TEL 054-283-5424 <https://www.nichicomi.com>

第61回豊橋市高齢者福祉大会

令和6年11月26日(火)、第61回高齢者福祉大会が豊橋市公会堂にて開催されました。

今回の福祉大会では、結婚50周年の金婚を迎えるご夫妻60組、60周年のダイヤモンド婚を迎えるご夫妻40組をお祝いするとともに、多年にわたり高齢者福祉の向上に尽力された功労者を表彰しました。開会にあたっては、主催として長坂市長及び市老連の今川会長より挨拶があり、

参加された皆さまに感謝とお祝いの言葉を述べました。

続いて老人福祉事業功労者として、矢田榮次郎氏、高木美喜保氏に感謝状が贈呈されました。また金婚を代表し石原亘・啓子ご夫妻、ダイヤモンド婚を代表し鈴木輝男・節子ご夫

妻が市長より祝詞を贈呈されました。

第2部では、毎年恒例の花男子による感動の花贈りパフォーマンスが実施されました。金婚とダイヤモンド婚それぞれ1組が登壇し、夫から妻へ日頃の感謝の言葉を添えて花束を贈りました。また参加されたすべてのご夫妻にブーケが手渡され、会場が温かな雰囲気になりました。参加された皆さま、おめでとうございます！



高木美喜保氏



ダイヤモンド婚
鈴木輝男・節子ご夫妻



金婚
石原亘・啓子ご夫妻

花贈りパフォーマンス



大川勝正・勝子ご夫妻



大橋信夫・君子ご夫妻

新年のごあいさつ



ゆたかクラブ豊橋（豊橋市老人クラブ連合会）

会長 今川 智嗣



新年あけましておめでとうございます。会員の皆さまにおかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃よりゆたかクラブ豊橋の事業にご理解とご協力をいただきまして誠にありがとうございます。

さて、昨年は「グラウンド・ゴルフ大会」や「ボウリング大会」、「ゴルフ大会」に多くの皆さまのご参加をいただき、盛大に開催することができました。また、「趣味の演芸大会」は会場を豊橋市公会堂に移して開催。「趣味の作品展」は、例年より多くの出品をいただき、力作が会場に並びました。2年ぶりに「囲碁・将棋大会」を開催した他、5年ぶりに「単位老人クラブ会長・女性部長研修旅行」を行いました。

9月には一宮市で「愛知県老人クラブグレートボール大会」、10月には大府市で「愛知県老人クラブグラウンド・ゴルフ大会」が開催され、ゆたかクラブ豊橋から代表者が参加し、それぞれの競技で奮闘しました。また、グラウンド・ゴルフ大会と同日開催の愛知県老人スポーツ大会には、マラソン競技にゆたかクラブ豊橋から3名が出場し、颯爽とコースを駆け抜けました。

また、地域においても公園の清掃や交通立ち番、一人暮らしの高齢者訪問、多世代の交流行事など、ゆたかクラブ豊橋は地域ごとに様々な活動を行っています。地域への貢献活動を通して、ともに活動する仲間や地域住民との絆を深めています。

このように、ゆたかクラブ豊橋では年間を通して、様々な事業を行っていますので、一人でも多くの会員の皆さまに老人クラブの活動に参加していただきたいです。新たなつながりによって、心のやすらぎやさらなる充実感が得られることと思います。そして、皆さま一人ひとりが老人クラブ活動を楽しむことが、ゆたかクラブ豊橋全体の活性化につながると考えています。

これからのゆたかクラブ豊橋の発展に向け、こうした人と人とを結ぶ老人クラブ活動をさらに広げていくことが、新たな会員獲得にもつながっていくのだと思います。それには皆さまのお力が必要ですので、引き続きご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が皆さまにとって、希望あふれる年になりますように心より祈念いたしまして新年のご挨拶とさせていただきます。



スポーツ大会結果

高齢者に適したスポーツを通して、健康維持や生きがいを高めながらお互いの親睦を深める一日を過ごしました。(敬称略)

第12回ゴルフ大会

■令和6年11月7日(木)

■新城カントリー倶楽部

主催／ゆたかクラブ豊橋(豊橋市老人クラブ連合会)

109名が参加し大いに盛り上がりました。大会は9ホール(ダブルペリア方式)で行いました。

■大会結果■

順位	氏名	校区名
優勝	小柳津直彦	西郷
準優勝	加藤 智啓	嵩山
第3位	長谷川孝司	杉山



優勝した小柳津さん

※左記の賞以外に、飛び賞(10位ごと)、ブービー賞を贈呈しました。

ドラゴン賞

コース	氏名	校区名
北コース6番	加藤 潤二	向山
東コース9番	古川 範明	富士見
南コース3番	藤山 島子	高師

ニアピン賞

コース	氏名	校区名
北コース3番	藤城 茂	牟呂・汐田
東コース2番	戸鹿島政晴	花田
南コース4番	長坂 幹	高師

第26回グラウンド・ゴルフ大会

■令和6年11月14日(木)

■東田球場

主催／ゆたかクラブ豊橋

(豊橋市老人クラブ連合会)

共催／豊橋市

主管／豊橋グラウンド・ゴルフ協会

赤・青の2コースに分かれて男女別個人戦、16ホールの合計打数で競いました。278名がプレーを楽しみました。

■大会結果■

総合優勝 男子の部 山本 薫
女子の部 川端レイ子



コース	順位	氏名	スコア
男子赤コース	優勝	西口 勝廣	30
	準優勝	三浦 廣	34
	第3位	廣中 和義	35
男子青コース	優勝	山本 薫	32
	準優勝	杉浦 丈雄	32
	第3位	柴田 仁	35
女子赤コース	優勝	三浦 扶公	31
	準優勝	久米 君子	33
	第3位	田中 京子	34
女子青コース	優勝	川端レイ子	34
	準優勝	竹内よし子	36
	第3位	仲井美代子	36

第12回ボウリング大会

■令和6年12月13日(金)

■岩屋キャノンボウル

主催／ゆたかクラブ豊橋

(豊橋市老人クラブ連合会)

94名、19チームが参加して行いました。2ゲームの合計スコアで競いました(団体は1チーム5名、同スコアの場合は2ゲームの得点差が小さいほうが上位となります)。



■大会結果■

団体の部			
順位	校区名	スコア	
優勝	天 伯	1615	
準優勝	新 川	1597	
第3位	牛 川	1416	
個人の部(男子)			
順位	氏名	校 区	スコア
優勝	松下 賢一	新 川	413
準優勝	坂本 俊二	花 田	359
第3位	林 良廣	天 伯	358
個人の部(女子)			
順位	氏名	校 区	スコア
優勝	笹野真理子	新 川	339
準優勝	長谷 慶子	牛 川	312
第3位	坂本佐恵子	花 田	277

※上記の賞以外に、飛び賞(10位ごと)、ブービー賞を贈呈しました。

第47回趣味の演芸大会

令和6年10月24日(木)に豊橋市公会堂にて開催しました。

例年と会場が異なりましたが、14組156名が参加し、日頃の練習の成果を十分に披露しました。歌謡曲やダンス、三味線や太鼓の演奏もあり、見ごたえのある舞台ばかりでした。



第56回趣味の作品展

令和6年10月29日(火)～31日(木)の3日間にわたり豊橋市民文化会館2階展示室にて開催しました。出品された270点の作品は、ぬり絵や写真、書道、手芸など多岐にわたり、どれも力作ぞろい、来場者を楽しませてくれました。





つつじが丘ブロック 交通安全教室の開催

天伯シニアクラブ和みの会

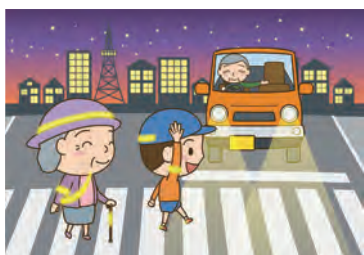
鈴木 訓司

令和6年9月4日(水)向山校区市民館で会員41名の参加で交通安全教室を、豊橋警察署女性警察官2名の講師で行いました。特に高齢者の自転車の乗り方、歩行者の安全性を高めるにはどうすれば良いかについて例を挙げて説明されました。服装は見やすく明るい物を着用する事と、^{たすき} 嚢や靴のかかとはつけ反射する「シューピカ」の使用を勧められ、参加者全員に「シューピカ」が配布されました。

○自転車に乗るときの注意事項

一 乗るときは左から乗る。

二 降りるときは左から降りる。



「芦老連、みんなで 楽しく体力測定」

芦原校区老人クラブ連合会

伊藤 公満

令和6年11月7日(木)快晴。当日は、芦原校区市民館の全室を貸切にして「芦老連、みんなで楽しく体力測定」を実施。コロナ前から実施のこの事業は、途中お休みもありましたが、私が日本レクリエーション協会のスポーツレクリエーションサポーターの資格を持つので、測定種目を検討し、超高齢化が進む会員に合わせて少しやさしいプログ

- 三 ブレーキは左から使用する(後輪)。
 - 四 左足をつく。
 - 五 自転車は左側通行。
- 自転車安全利用五則を紹介しましょう
- 一 車道が原則、歩道は例外、歩行者優先。自転車は左側通行。
 - 二 交差点では信号と一時停止を守って、安全確認。
 - 三 夜間はライトを点灯。
 - 四 飲酒運転は禁止。
 - 五 ヘルメット着用。
- (以上中央交通安全対策会議 交通対策本部資料より引用)
- 高齢者の自転車による交通事故が多くあります。自転車に乗るときは、必ずヘルメットを着用して死亡リスクを減らしましょう。



骨密度測定と血管年齢測定に並ぶ様子

ラムに変更しました。始めた当時はサポーター仲間に来てもらい測定の協力をお願いしましたが、今では芦老連の各クラブの会長と同女性部長が測定員として立派にやってくれています。感謝です。

暫くは感染予防のために、クラブ毎に時差で集合しておりましたが、今回は一度に全員集合して、(以前、校区体育委員で)会員の宮川さんのリードで「豊橋弁のラジオ体操」を元氣よく行い、測定をスタート。外部からの応援として、キョーワ薬局様から骨密度測定と血管年齢測定の協力をいただき、また福祉村地域包括支援センターの方へも協力をお願いしました。こうした事業は、地域会員の親睦も兼ねます。今回は健康管理のできた会員が集まりましたが、更に健康寿命を延ばすため、少しでも日常生活に活かしてもらえたら、と思います。

段々と色々な事業の参加者が減少してまいりましたが、これからも継続していきたい事業の一つ、と思います。参加の皆さんの御協力に感謝します。有難う御座いました。これからもお元気で。



春のウォーキング

岩田校区老人クラブ連合会

伊達 朝美

令和6年4月1日、岩田校区老連のウォーキングが行われました。

3月29日の大雨で3日後の天気が危ぶまれましたが、当日はとてもいい天気になり、岩田校区全体で126人の会員が参加しました。若竹会からは35人参加しました。

10時半に岩田校区老連、高橋会長の挨拶のあと、ウォーキングはゆつくりとスタートしました。

「桜の花も今日のウォーキングに合わせて咲いてくれたね」

「今年の入学式は桜の花が丁度満開になりそうだね」と会話しながら歩きました。

水神池もこの間の大雨でたつぷりと水をた

たえ、噴水も勢いよくあがっていました。

ウォーキングの後はお楽しみのお食事会です。

弁当のおともはお茶に日本酒とビール。そしてアルコールの苦手な人のためにノンアルビール、ジュース、甘酒も用



意しました。

みんな自分の好きな飲み物を選べます。久しぶりの外での食事は会話もはずみ、楽しいひとときを過ごしました。

秋のウォーキング

岩田校区老人クラブ連合会

河野 稔

令和5年11月22日は風もなくあたたかく、良い天気のウォーキング日和になりました。

開始11時の30分前から参加予定のほとんどの会員が集まって来ました。

113人の参加で、会長挨拶のあと、水神池のまわりを2周するコースと、運動公園の外まわりコースの2コースに分かれて出発しました。

ちよつと歩いただけで汗ばんできました。

岩田運動公園のいちょうも黄色に色づいて

とてもきれいでした。

「近くに住んでいてもいちょう並木をじっくりながめた事ないよ」とおしゃべりしながら歩きました。

ウォーキングした後のお弁当はとてもおいしかったです。





夏はやっぱ 生ビールとかき氷

平岡区老人クラブ若竹会

伊達 勲

令和6年8月11日、町内の夏まつりが開催されました。若竹会も協賛でジュースと生ビールを販売しました。

業務用サーバーを使つての本格的な生ビールです。つまみ付きで、中ジョッキと同量の紙コップ1杯200円の大サービス価格です。ジュースは子供相手ですので、普通の紙コップ1杯10円にしました。盆おどりのはじまる前、夕方6時からの販売です。買った人はその場でくじが引けて、当たりが出るともう1杯プレゼントです。朝からサーバーを冷やして、15缶2本が2時間足らずで完売しました。自治会では、前回リクエストのあった「かき氷」のお店が出されました。シロツ



プはイチゴ、メロン、そしてラムネです。6時から先着150人には無料引換券が配布されました。無料券をもらえなかった人も1杯50円の大サービスです。好評で227

杯売れました。途中、氷がなくなり、追加で買い出しに行きました。

さて、メインの盆おどりは「ダンシングヒーロー」が一番人気で盛り上がりました。

喫茶店にて作品展

平岡区老人クラブ若竹会

いまぎれ
今給黎葉子

サロン「わかたけ」で作成した作品を展示して、皆さんに見てもらいたいと思い、町内にある喫茶店で、3月8日から14日まで「第3回わかたけ作品展」を行いました。

今までに作成した絵手紙とぬり絵に加え、写真と絵画の出品もありました。

今回は会員の皆さんが使わなくなった額縁をゆづってもらい、その額縁に絵手紙やぬり絵を入れて展示しました。

コーヒーを飲みながらゆづくり見てもらいたいと思い、前回と同じようにお名前と感想を書いてもらうノートを用意しました。

「額縁に入れると絵が上手に見えるよ」と言われました。

次回作品展に向けて、サロンでせっせと作品を完成させています。





『光る君へ』大河ドラマ館・祇園散策 昼食・史跡旧仮皇居 聖護院 御殿荘

橋良老人クラブ東みどり会

高井 宏昌

4月上旬、お花見会が終わり、気分も盛り上がり、「春の親睦旅行に行こう」と話題になり、早速豊鉄観光サービスが行先を2〜3選定。「光る君へ」大河ドラマ館と祇園散策に4月下旬に決まり、早速、会員の皆様に募集したところ、35名の参加があり、5月20日に行く事が出来ました。行く道中、ガイドさんの案内を聞きながら車中は賑やかな雰囲気にも包まれ、オーイ、早く飲物を配ってくれ、お酒の欲しい方、コーヒー、飲物、お菓子、おつまみの欲しい方色々で車中は大賑わい、大忙しでした。バスは刈谷SA・土山SAに立ち寄り、瀬田東ICで高速を降り大津大河ドラマ館「源



聖護院御殿荘昼食後、門前で記念写真

氏物語恋するもののある石山寺散策。新緑の参道を進むと「光る君へ」大河ドラマ館がありま

す。主人公の紫式部を演ずる吉高由里子の大きなパネルが目に入り、ドラマに登場する俳優のパネルや平安貴族の服装が展示されており、華やかさを感じ取れました。また、見事な筆さばきで書かれたひらがな文字、読めない…わずかな時間でしたが、紫式部が引きこもって書いた源氏物語がここから始まったのかと思いつながら、山門を後にバスに戻りました。次は京都東ICを降り、平安神宮の鳥居をくぐり、史跡旧仮皇居・聖護院御殿荘にて昼食。大変豪華で品数も多く、楽しい昼食の時間を過ごしました。昼食も終わり、休む暇もなく次は知恩院・祇園八坂神社、花見小路・四条通り・先斗町と2時間の自由散策を思い思いのグループに分かれて行いました。知恩院を廻り、八坂神社境内巡り、祇園に行く人、四条大橋鴨川を渡り先斗町に行く人、喫茶店に入り京都を満喫する人、お土産も買い求め、京都を満喫したような感じがいたします。車中では、思い出の一筆を戴こうとメモ帳、ペンを配り皆様から沢山のお題をもらい、ガイドさんに発表していただき、楽しい一時を過ごしました。



石山寺山門くぐり「光る君へ」大河ドラマ館へ



保育園との交流会 「昔あそび」

高明日望会 中神 達二

令和6年11月6日、杉山保育園に杉山校区老連10名が伺い、保育園児年長クラス20名と昔あそびの交流会を開催し、楽しいひと時を過ごすことができました。

遊びは「紙飛行機づくり、コマ回し、おはじき、お手玉、あやとり」の5種類に挑戦してもらいました。紙飛行機は広告用紙を使い、自分で作った飛行機を飛ばして大はしゃぎでした。遠くに飛ばす競争を早速する子もいました。コマ回しはなかなか難しかったですが、上手に回すことができた子もいてにこにこ顔です。おはじき、お手玉、あやとりは初めての子もいましたが、みんな真剣に取り組んでいました。

楽しい時間はあっという間に過ぎてしまい、終わりの会では、「ずいずいずっころばし」



紙飛行機づくり



コマ回し



「演芸大会」

北山町若葉会 鎌子 千重

の指遊びを楽しみ、園児が覚えた「ソーラン節」をみんなが元気に披露してくれました。子どもたちと遊ぶことができて、私たちも元気をいただくことができました。



「橋」を熱唱する若葉会会長。
バックダンスで盛り上げるあやめ会の皆さん

た効果がある
といわれています。この先
年齢を重ねて
思考能力が衰
退し、介護施
設にお世話に
ならないため
にも、お互い
に今を楽しみ
、いつまでも健
康で若々しく
過ごせる事を
願う活動して

います。

第2の目的は、

毎年2月と7月
にある栄校区老
人クラブ連合会
主催の山田町公
民館で行われる
演芸大会です。

出演者は、各々
十八番の持ち歌
を発表して、拍
手喝采の中、気

持ち良く歌唱しています。私は舞台を盛り上げるため、自作の応援グッズを持ち寄り、自発的に応援しています。北山町若葉会の発表は毎回大変良かったと好評を頂いており、練習にも一層熱が入ります。

カラオケ機器は、北山町自治会に通信カラオケを設置して頂きました。誰でも気兼ねなく利用可能で、自治会には感謝しています。

「あやめ会」の活動内容を少し紹介します。歌う事が主な目的ですが、活動の中で通信カラオケの特徴を上手に利用して、色々な要素を組み入れ活動しています。

その他、高師ブロック演芸会様より若葉会を御招待頂き、毎年数名の選抜参加者が発表させて頂いています。ありがとうございます。今後色々な要素を取り入れて、健康で楽しく活動する事を旨として、練習に励みたいと思います。



会員随想

限界への挑戦「走る」

嵩山校区 北ふれあいクラブ 中山 悦男

30代前半の頃、社内駅伝大会に誘われた事が、私のジョギング人生のスタートでした。体力の衰えを感じつつも走る事を始め、3年後には区間賞を狙えるところまで走力が付いてきました。走りが楽しくなってきた私。冬場だけのジョギングが年中に変わり、仲間がフルマラソン大会出場に誘ってくれたのが本格的に走る事を意識した出来事でした。初のフルマラソンは、周りの景色とエイドステーションを楽しみながら難なく完走。楽しかった。その後、本でウルトラマラソンの世界を知り、阿蘇カルデラ100キロマラソンに初



挑戦。ゴール前の田園風景と完走できた達成感が素晴らしかったです。その後の数年間、年に1回程度100キロマラソンに参加、ラン仲間から250キロのさくら道マラソンの存在を聞かされました。さすがに別世界と思いつつも自分にも限界に挑戦したいと参加を決意。当時、さくら道国際ネイチャーランは海外招待選手を含む総勢30名程の大会でした。名古屋城の佐藤桜から途中、雪の荘川桜を横目にひたすら走り続けました。サポーターとエイドに支えられやつの思いで金沢兼六園の佐藤桜へゴール。ゴール後は歩く事もままならないほど辛く、翌日も両足が象の足のようになり腫れ、回復に数日間かかりました。完走出来た達成感は半端なく、痛みを喜びに変えるこの感動を他の人にも伝えたいと毎年挑戦してきた私。現在は走から歩に変え、知らない世界の街風景と人との出会いを求め、旅を楽しんでいます。

『ビニールハウスの避難生活』

津田校区 西日進会 笹野 壽

去年の元日に能登半島を襲った大地震。さまざまにひどい被害をもたらした。今でも、避難生活を余儀なくされている人たちが

が大勢いる。地震の後に津波も来て、さらに被害を大きくした。

また、輪島地区では、火災も発生して、倒

壊した多くの家が燃えてしまい、ただただ茫然と見守るだけであった。

地震発生から7日ぐらい後だったと思うが、私は、畑のビニールハウスへ避難している人たちを取材したニュース番組を見た。

近所の4家族が、農業用のビニールハウスへ避難している人達を取材したものだ。広さ約30平方メートルくらいであった。土の上にビニールシートを敷き、その上に段ボールを並べて、布団や毛布が置かれていた。暖房用にストーブも2個置いてあった。半分傾いた自分の家から、それぞれの家族が持ち寄ったものである。

テレビのインタビュアーから「多くの人たちが避難している、小学校に避難しないのか」との問いに、年老いた男性が、「この方が安全。みんな知っている者ばかりで、気心が知れているから」と答えていた。

私も、思わず納得してしまった。ビニールハウスは、また大きな余震が来ても、軽くて丈夫、倒壊のおそれがないからだ。少しぐらい傾いても、人が死ぬようなことはない。近所の顔見知りばかりで生活していれば、お互い勇気づけられ、少しは震災の悲しみも癒えて、明日からの生きてゆく勇気もわいてくると思うのである。

第92回囲碁大会

天伯校区

天伯シニアクラブ和みの会

西川

誠

高師緑地公園に車を駐車す。こゝは旧陸軍跡地だ。歴史を彷彿とさせる箇所を随所に垣間見る。公園のベンチに暫し腰を置く。外との空気が違う稀有な空間である。芝生の上では母と子供達の笑い声、生活が息づく広場だ。風しようにしようと亘り松柏泣く。空耳だろうか、往時の少年兵が汗と涙を流したのであるうか！教官の声、「匍匐前進!!」誰れの言葉か。過去は変えられないが未来は変えられると自問する私達には、歴史を語りつく義務があると同時に風化させてはならない。やるべき事がある。

公園の一角に今回の会場、高師老人福祉センターがある。四季色々の企画が実施され老

男女で賑わう。対局は2階の大広間、春は万葉の桜、今6月新緑が窓外を流れ電車の音も心地良い。試合は職員の挨拶説明の後10時スタート。私を入れ10名での親睦チームが臨む第1局を紹介しよう。互いに棋風は昭和パワーを感じさせる「いぶし銀」の味だ。定石外れの斗たたかいで始まる。どう戦うか、双方好みの色濃く、黒のシノギ白の攻め、という構図だ。序盤から互いの気迫がぶつかり合った。参ったなあ……ぼやきが止まらない。碁の静の世界の中は心の葛藤がある。難しい対局が続く。されど戦中の会話を楽しむ。酒はどうですか、碁と同じぐらいと、世事のこと等々、あのほうは…ボチボチと答える。トントんと

進行し終盤まで地合いで星一つリードかと、1の七「落とし穴」弱点をつかれ、盤石かと思っていたがこの一手に白旗をあげた。一戦を総括する。

以前から部分的に考えていた手と、深い読みには参った。この日の経験糧としたい。今日は楽しい戦いだった。主催して下さった方々に感謝。

76歳私走ります

吉田方校区

三ツ相町老人クラブ

石原 正勝

私は、今年76歳を迎えました。日本人の誰もが、70歳を過ぎても元気にすごしている事が多くなる様になりました。私はこれまでに大きなケガや大病をした事はありません。少し病気がありますが（クスリは飲んでいません）、スポーツや運動は特に行っていませんでした。しかし、少しマネした事はありません。一步や二歩三歩程度です。それは仕事が終わりの日になんとなく半日かけて家から3km程の豊橋公園、豊橋市中央図書館へ自転車を出かけていくぐらいでした。出かける時に200円持って、つかれたら自販機でコーヒーを買い、飲んで家は帰っていました。そんな生活をしていた時に老人クラブに入会しました。その時マラソンの記事があり、何を思ったのか、これならば自分でもできるかと考えて、朝家から少し離れたところにある、コーヒーの自販機、またはコンビニに立ち寄って、走る事にしました（歩いている

囲碁は別名「手談」ともいい、言葉を交わさなくても心が通じあう。お互いに敬意を持って接する気持ち、礼儀に関することはどの世界でも同じだ。ぽつりと思う、老いても夢中になるものを持って。やってみて初めて出会えることがある。

「負けてよし勝って尚よし囲碁仲間」



大会当日、マラソン競技仲間と（筆者は右）

方が多くありました。それが続いている内に3kmは走れる様になり、これならば老人クラブのマラソン競技に出場できるのではないかと思います。週3日から5日は走る様にして、本大会めざしてガンバローと努力しています。これまでの記録は22分49秒ですが、今年は20分切りを目標にしています。1kmは3分23秒、2kmは8分40秒です。3kmは測定していません。当日はガンバロー走ります。

風の伝承について

福岡校区 富本町富久寿会 中島 孝行

風、風揚げ、天まで揚げられ!!

子供の頃の遊びと言えば風揚げです。でも僕は、風の骨である竹や紙、糸が置いてある父の作業場で、幼い時から遊んでいました。父は風師で、終戦後、中国からの引上げで祖父の雑貨商を継ぎ、その副業で風を作って売っていました。一時は狭間商店街（今の大豊商店街）の駄菓子屋さんに風を卸していたと聞きました。通称五円風と呼ばれ、よく売れた様です。僕はそんな風のシippo貼りを母といっしょに手伝いました。父は器用な手で、一筆書きの風を作っていました。富士の絵、ひよっとこ、おかめ、松竹梅など、父の背中を見て育ってきました。

風の歴史は古く、江戸時代に松平氏と言う藩主が浜松と吉田を領していた時、ケンカ風合戦を奨励されました。これは、現在の浜松

ケンカ風合戦や田原のケンカ風合戦に残されています。

豊橋の風も、父が伝承の風「けろり風」「八ツ花風」の復興のため、豊橋風保存会を立上げ、初代風保存会長として活躍し80歳で亡くなりました。僕も伝承工芸の風を残しつつ、市のまちづくり出前講座などの風づくり教室に参加しています。現在は会員数4名と後継者不足の解消が急務です。毎月第2火曜日の午前中に、神野新田ヲノ割の豊橋総合スポーツ公園のサッカー場で風揚げを行っています。和風からカイト立体風まで自作の風を持ってご参加下さい。

夢は大きく、全国風揚げ大会豊橋の復活です。

わかれ道で何度も迷う

飯村校区 シニアクラブ同好会 田中 教雄

昔は小学校へあがる前に幼稚園へ行くことができるのは、恵まれた家の子もただだった。

兄達が学校に行ってしまうと、遊び友達もいないので、村内の牛などや鳥小屋の中を覗いて、ヒマつぶしをしていた。

そこにいた老人が歳を聞くので「6ツ」と

答えたところ「そうか!!来年4月から小学1年生だぞ、満6歳は学齢だ」と教えられた。

(あくこれまで文字の読み書きは少しだけしかできないぞ、こりゃー困ったな…。そうだがみんなに合わせて同じふりをしていたら：なんとかなる)と自己暗示にかけ、安心して

ところが、学校では困った事になった。育て親の祖父母は文盲なので、小学生の兄に怒られながら勉強を教わった。

唱歌だけはオルガンに合わせられたので、少しだけ自信が持てた。しかし「国語・算数・理科・社会」は労苦が続いた。

その時にふと考えた。(このままでは大人になっても、真正面な仕事には就けやしないぞ!!何んとかしないと)と。

そこで小さなことでも、自分のできるものから覚え始めたものだ。その時教えてくれたのは、小学校の女先生だけだった。ありがとう。これまでの分岐点では、夢や仕合わせは近くに望めたので頑張れましたが、そこまで到着しない時には、「そうか?あそこで方向が狂ったのだ!!またやり直そう」と考えた。

この時の方向転換は無駄ばかりだが、後で行動したことにやっと納得できた。

メダカの学校

福岡校区 橋良老人クラブ東みどり会 寺田 亮一

「メダカの学校は川の中、そつとのぞいて見てごらん、そつとのぞいて見てごらん、みんなでおゆうぎしているよ、メダカの学校のメダカたち、だれが生徒か先生か、だれが生徒か先生か、みんなで元気にあそんでる」なつかしいですね。子供の頃、みんなよく歌いました。





二千三百米の別世界

知人にメダカを飼ってみたいかと勧められました。しかし、メダカの知識はゼロ。心配でしたが分けて貰う事にしました。メダカに関するアドバイスを1〜10もらい、何とか。陶器と発泡スチロールの水槽で飼う事に。金魚の様に、サーモスタット等何もありません。夏暑い時は直射日光が当り、また冬の寒い時は水が凍る、そんな厳しい環境でも元気に泳いでる。陽気がよくなり水ぬるむ頃になると、

メダカも、繁殖期。メスの腹が膨らみ、浮き草ホテイアオイの根にわずか1〜2ミリくらいの硬く透明な卵を産み付ける。10日程で受精卵からは、小さな小さな針子と呼ばれるメダカの誕生です。針子は親と一緒に水槽では共食される為、最初から分けておきます。メダカは34種類程でアジアのみに住み、アメリカ・ヨーロッパ等にはいません。日本では東日本・北日本山陰等10ヶ所の分布になってお

花田校区 西羽田町ゆたかクラブ 羽田 光江

観光バスで万座温泉へ行った。当日夜明まで雷と大雨でひどい天候だったが、出発時には晴天となった。霧ヶ峰ではハンググライダーの2機滑空を見る。目の前の滑走路を走行して舞上がっていく姿はとても新鮮で、雲

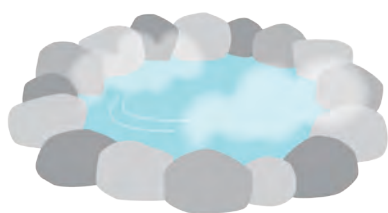
のまにまに見える機体に目を奪われた。山の空気もおいしかった。次に車山高原へ行き雄大な山の景色を見ながらソフトクリームを味わった。次に白樺湖に行き、リフトに乗った。山の頂上へのリフトでは、お花畑を見下ろし景色を一望できる雄大さを楽しんだ。万座温泉到着は予定より遅れ、食事をとった。夜は館内の温泉に入った。翌朝、露天風呂へ行くと硫黄の香りもする白色や黄色の濃淡の7つの露天風呂が熱湯・ぬる湯といろいろでかなりめずらしい。湯元も間近にあつて、立入禁止の看板の先は湯気がもうもうと沸き立っていた。これぞ天然温泉とうれしくなつて、いくつもの湯かげんを見て廻った。

今日のコースは横手山だ。スカイレーターという動く歩道が傾斜に長距離あつて、手すりをしっかり握っていないと滑ってしまう。こんなの初めての経験で楽しかった。次はリ

ります。愛知県産のものにはニホンメダカ、ヒメダカ、シロメダカ、楊貴妃メダカ等々がいます。

※メダカは遠い昔、海の魚だったと言われている、淡水域に進出し、長い時を経て淡水魚になったと言われています。たかがメダカ、されどメダカ、愛しいです。

フトに乗り山頂へ。2172mの日本最高の高度にある国道の看板がある。周りは高山植物の平湿地で、帰りはロマンスリフトでのどかな空の散歩をゆったりと時間をかけて降りる。ゆらゆらと上天氣の山や雲の動きを眺め満足だった。次の軽井沢はにぎやかで、午前中は上皇様ご夫妻が来られて通行止めだったとか。何度行っても素晴らしい町だ。初体験はすごく楽しい。



がんばろう後期高齢者!!

芦原校区 高師町明生会 宮川せつ子

アツと気が付いたらなんと私も後期高齢者2年目。随分年をとったものと改めて思い知る。

その間、癌の手術を2度。幸い抗がん剤の世話になることも転移も無く、現在に至る。

最近、指先が気持ち悪く「ジンジン」する。朝起きると足腰が痛い。本が読みづらい。もの忘れが等々、老人特有の症状がいやと言う程現れ、老化を認めざるをえないこの頃である。

このままボケたら大変と危機感を覚えた。そこで考えた。まずは町内の老人クラブに積極的に参加しよう。今では副会長を仰せつかり、広報を担当することとなった。折にふれ「明生会だより」を発行。回覧板にも入れて

もらい、町内の方々にも活動を周知して頂いている。「読んだよ」と言ってくださる優しい方もいて素直に喜んでいいる。

身体を動かすことも大事。そこで近所に来たスポーツジムに週5日を目標に通っている。お気に入り「ホットヨガ」。溶岩ホットスタジオで行うヨガだ。労せずして吹き出す汗は、超気持ちいい。それと「ズンバ」。色々な国の曲にのってインストラクターの動きに合わせて踊る。ワントempo遅れてもおかまいなし。見て動くことは脳の活性化にいいそうだし。お口の体操も怠りなく行っている。そんな中で「癌友」もできた。

ピンコロを目指し、今日も元気に過ごせたことに感謝の毎日である。

みどり会（橋良町老人会）物語

福岡校区 橋良老人クラブ東みどり会
藤井 昌昭

私がみどり会に加入したのは65歳でした。働き働きの時代を卒業をして、地域の付き合いもなく過ごした25年（町在住）。どの様にこれから暮らしていくのか？地域の絆無しでは不安な時でした。

何とかなるだろうと思った時のおさそいでした。年会費1500円を払って、おさそいのまま、全ての行事に参加。多くの皆様との出会いが、今日1人暮らしを何とか維持でき

ているたまものと思うところです。

1500円の会費が市老連、自治会の補助金により約4000円となつて、みどり会の運営費となつていますが、年度末報告書で読み取れました。どろくさく見てみますと敬老会の祝品。1人暮らしの友愛訪問の品。新年祝賀会出席のおもてなし。年度末総会の会員への記念品。お花見。日帰り旅行。ペタンク等々の運動への大会補助。わくわくクラ



ブ（月1回目途運営）等を見た時、積極的行事参加者は3500円くらい、名目会員で2000円くらい相当のキックバックと想定されます。

みどり会誕生50周年が盛大に行なわれたのが、つい先日の様に思います。運営経費は歴代会長が積みたてて下さったと伺った事があります。以降、「人に優しい、人を思いやるみどり会」発展の周年祭用にと積立てをしている項目も目に止まりました。

多くの皆様と絆を持つことは、認知症予防、体力増強、楽しい老後、変化のある日々等に

少年時代を思い出す運動会

福岡校区 橋良老人クラブ西みどり会 鈴木 祥允

福岡小学校創立150年おめでとうござい
ます。

私が小学校を卒業し50年以上（昭和、平成、



つながるのではないかと思うところです。

組長さん（1グループ平均5〜6人）を体験するとその輪はもっと広がり、年5〜6日の会議に出席することにより、みどり会の楽しさが倍増、自分の生きがいが増す様に感じます。

ふと耳にした会員減の話題。みどり会発足時は400人強、橋良町は地域も広いので橋良町公民館を境に東と西に分けて、東みどり会、西みどり会として運営（合同運営と単独行事運営有）されているとのこと。近年の橋良町一帯は新築住宅が増えてきているのが目

令和）経ち、運動会の時期が来るたびに、小学6年生と、中学1年生の少年の頃を思い出します。今回は当時を思い出しながらペンを持ちました。

その当時運動会は、春でなく秋に行っていました。橋良町は、現在と同様、世帯数が非常に多いため、東、中、西の3チームに分かれており、私のチームは西チームでした。その時私は小学6年生で、町内年齢別リレー競争に出るために、子ども会役員方にバトンの持ち方や手渡し方などご指導をして頂きました。運動会当日、1年生〜5年生まではトップで、アンカーの私にバトンが渡りました。しかし、その後、ゴールの3メートル位手前でバトンをうしろに落とし、予選落ち。子ども

に止まります。地域のつながりに困惑している方もいるのではないのでしょうか。「人に優しい、人を思いやるみどり会」として気配りも必要かと存じます。

市老連の補助金ランクを現状維持するためには、会員増強が必要と聞きました。今日楽しく暮らさせて頂いております思いを、多くの人に味わって頂く様に近所の皆様にお声がけを致しますことを結びいたします。

も会役員、選手の皆様方にはお世話をお掛けしたことで、悔しくて当日晩は寝つきが悪かったです。本当に残念だ。「安心感を持ち速度を落とした瞬間バトン落とした」ことを反省しました。

また1年後の、中学1年生の運動会（1クラス5名）。クラス別障害物リレー競争に出て、4番目に走り3位でバトンを受け取った。障害物は①箱飛び、②梯子くぐり、③綱くぐり、④平行棒渡りだった。偶然にも綱くぐりがうまくぬけられ、最後のアンカーにバトンを渡せた。アンカーはゴールテープを切った。③でのバトンの持ち方（先端を内側に持ち替え走ったこと）が良かったのだと思う。

私の終活

玉川校区 長楽長寿会

高木 和夫

私の一番の終活は、90歳になったら、自動車運転免許証を返納することです。あと何年くらい今の健康状態を維持できるか？と考える毎日です。人並みに足腰が痛く、体力の衰えを感じています。

しかし、病院、スーパーに行くのに、歩いて40分。たまにはお茶といつても、20分バス・地域バス等、中々自分の時間に合いません。苦勞する土地柄です。今一番、問題視しているのは、私達超高齢者の交通事故のニュースです。同じ年代の仲間として聞くとびに恥ずかしさと、申し訳ない気持ちになります。私は8月に免許更新を迎え、87歳になります。更新できれば、3年間。90歳まで運転することが出来ます。緊張感と責任の重さを心の底

から感じます。ハンドルを握れば、若いから、年配だからと言うハンディはありません。全責任は、自分にあり、事故を起こせば、加害者にもなり、犯罪者にもなりかねません。周りの人々にも、多大な迷惑を掛けることになります。90歳といえば、超高齢者です。運転前には、身体をほぐし、特に首まわりを柔軟にして、前後確認のため、念入りにします。あたり前のことですが、交通規則を守り、万が一、事故を起こしたら、また交通違反をするような事になったら、即座に免許返納を覚悟して、無事故無違反をモットーにして、90歳を迎えるまで元気に頑張っていく覚悟です。

本当の事を教えて

牟呂・汐田校区 外神豊寿会 鈴木喜久男

只より高いものは無い。金は天下の回り物。果報は寝て待て。いろんな諺があるが、全く信念の無い私は、あっちへふらり、こっちへふらりと風に吹かれて生きている。

テレビは本当の事は、報道しない。厚生労働省は、信用できない。消費税は、諸悪の根源らしい。ワクチンは打つべきか。どうやらmRNAは、危険な気がする。

神様、本当の事を教えて。自分で考えて、納得すればいいのだけれど、それができない

のである。そもそも政府のやることが、信用できない。NHKも信用できない。ネットの情報も、同じで、鵜呑みにはできない。

一部のお金持ちと多数の貧乏人。格差社会は広がるばかり。健康保険証のマイナンバー化。そして今政府は、株を勧めている。

さて、お金の無い高齢者はどう生きていけばいいのか。昔は収入の範囲で、つつましく生きていければいいと思っていたが、なかなか難しい。蟻とキリギリス。キリギリス的な

暮らしをしてきた私は、蓄えが無い。一時、預金が2000万円無いと老後は生き抜けないといわれた時があったが、ゼロがひとつ少ないので、とてもとても、厳冬期を乗り切れない。

朝の清掃、喫茶豊寿会でのおしゃべり、ゲートボールの楽しさ、バス旅行での漫談、マイクを持ったら放さないカラオケの事など、もっと楽しい事を書くつもりが、消費税は諸悪の根源。それが、頭から離れない。

自分史

玉川校区 長楽長寿会 大木 敬一

小生は今年度から老人クラブに入会させて頂き、早速、組長をやらせてもらっています。当初まだ入会は早いと思っていましたが、同級生も入会したと聞き入会を決心しました。入会して役をやってみますと、会員の減少を目の当たりにして、友達にも入会を勧めなくてはと思うようになりました。また、会長や役員の方々のご苦労も解り、少しでも手助けをと色々の催しにも積極的に参加するようにしています。入会を勧めると殆どの人が、自分と同じように、まだ早いと言われるが、まず入会してみたら考えればいいのではと思います。ちなみに自分の今は、朝の散歩のつ

もりで新聞配達をして6年目、生涯スポーツのつもりでグラウンド・ゴルフをして4年目になりますが、健康のためには、楽しんで頑張っています。

自分的に、これからの老後は、過去はもう変えることはできないが、今現在、今これからは、変えることができると思っています。だからもう、自己中でタラレバでいいんです。これからは、ポジティブに自由奔放な余生を送り、そして新聞配達を80歳、グラウンド・ゴルフを90歳までできたらと思っています。

人生のふり返り

吉田方校区 馬見塚長生会 加藤 雅巳

会社員として60歳まで勤め、定年退職を迎えたあの日の事を鮮明に覚えています。世の中の流れが定年制の延長を取り入れる企業が増加してきた頃です。ご多分に漏れず私が勤めていた企業も公社から民間企業へと変貌を

遂げ、制度としてはまだ導入されていませんでしたが雇用の延長を認めており、現役の頃と比べても6割程度の賃金で、先輩や仲間の人は不満を抱えつつも現役の頃と同様な仕事を続ける人が大半でした。しかし私は一種

の燃え尽き症候群のような感覚で、長年勤めた会社を定年退職いたしました。

さあ、明日からは自由です。通勤電車、仕事の悩み等考えずに済み、ストレスが無くなるものだと思うと、心ウキウキ状態で大変「幸せ気分」に包まれていました。20歳前後にはバイクを嗜み、近所の名所めぐりで青春を謳歌していた頃が大変懐かしく思い起こされます。そうだ、「大型バイク免許を取得して今こそバイクで旅に出かけよう」との思いに駆り立てられました。ツーリング仲間も出来、宿泊しながらの遠出、ご当地名物や景勝地を求めて各方面へ出かけ、思う存分楽しめた6

人生100年時代に向かって

小沢校区 第一寿会 朝倉 光夫

年間でした。しかし、高齢者のバイク事故が多く発生しているとの新聞記事を見て、家族は心配の様子でした。バイクは唯一私の趣味だったので、妻は止めてほしいと言いつつ、なかったやうでした。天邪鬼ではないですが、もし妻からバイクを止めるように言われていたら今も乗り続けていると思います。人生は、いろんな決断をしながら進むもので、時には身近な人の助言に耳を傾け、素直になった方が良いかもしれませんね。第2の仕事も10年目を迎え、また人生の決断が迫ってきた今日この頃です。

人生100年時代が現実のものになりつつあります。83歳になった私の若い頃は、人生60年といわれ、100年生きることは想像もできませんでした。たとえ医師が発達しても、人生100年を無病で通すことは不可能なことです。私自身の人生を振り返ってみると、若い頃は自分自身の健康について考えたことはありませんでした。40代は8年間の単身赴任生活を過ごし、日曜日の夕方自宅を出発し、月々金曜日は就労・独身寮生活、土曜日夕方帰宅の繰返しでした。その間全く医者にかかりませんでした。50代になって自宅から通勤が始まった時、会社の健康診断で血糖値が高いと言われました。しかし自覚症状のない私は無視していました。ある日突然会社から休職扱

いとす連絡があり、慌てて病院へ行き精密検査を受けました。その結果は、即入院・食事療法開始でした。その後は、月一度の血液検査と投薬が現在も続いています。もし会社の健康診断がなかったら今の私の人生はなかったかも知れません。中年以後の人は、健康診断をおろそかにしてはいけないことが身にしみてわかりました。その影響で健康書籍に目を通すようになりました。厚生労働省が公表した「健康づくりの身体活動」の中に、「成人は一日60分（一日8000歩行）、高齢者は一日40分（一日6000歩行）の身体活動を推奨します」とあるのが目に留まりました。私は現在一日7000歩を確保し、健康でいる努力をしています。

会員文芸

俳句

◆岩田校区 北岩田一区老人クラブふたば会
音痴など気にせず歌う敬労会

小椋かつ子

◆岩田校区 東岩田長寿会

暑き日々ほつと見上げる秋の空

加藤カツエ

つづけざまくさめ噓三つの縁起かな

千賀 芳彦

◆飯村校区 飯寿会

静脈の浮き立つ右手柿をも挽ぐ

廣中 雅子

秋深む山頂駅の賑わいて

佐野 栄子

◆天伯校区 天伯シニアクラブ和みの会

妹よ母の香りを置いてゆけ

西川 誠

◆吉田方校区 若波会

寒梅やにつこり咲きし二、三輪

河合 昭子

◆福岡校区 橋良老人クラブ東みどり会

満開桜酒盛り胡座敷きて

田中 幸三

◆大清水校区 第一豊松会

空襲で焼け出されの身鬼火泣く

鈴木 正子

◆大清水校区 第二豊松会

こんにちはカフェを覗きに家つばめ

藤村 元司

◆大清水校区 柳風会

春の風故郷佳き日山の色

平山 勝

◆大清水校区 第二きさらぎ会

暑さ忘れ流しそうめん孫笑顔

花井 博行



短歌

◆岩田校区 北岩田一区老人クラブふたば会

思い出せ顔は分かるが名が出ない
頭をかかえ海馬よ起きろ

小椋かつ子

◆幸校区 牧野町長寿会

いづこより流れつきたるわがころも
その身つつみてわが身をまもる

宮田 建夫

◆天伯校区 天伯シニアクラブ和みの会

「五」を打ったグラウンド・ゴルフ

西川 誠

◆吉田方校区 若波会

夕日背に影描きいる群雀
身を寄せ合いて飛び立つを待つ

岩田知津子

柏手の響きに合はせ礼なせば

榊の香りほのとつきくる

丸山二三四

ホーローの薬缶の蓋は百二十グラム

落として痛しわが足の甲

横山 宜世

◆吉田方校区 菰口町寿会

白檀の線香の香は如何かと
初盆の兄に聞いてもみたし

杉浦尊香子

◆福岡校区 橋良老人クラブ東みどり会

ゆらゆらといきかう蝶に目がくらみ
どこにいかうか我も迷えり

高井 宏昌

◆大清水校区 第一豊松会

八十路来て育ての親に似て来たと
良くも悪くも貴女の娘です

鈴木 正子

◆大清水校区 第二豊松会

探しもの朝昼晩と昨日今日
笑い飛ばしダイヤモンド婚

藤村 元司

◆津田校区 西日進会

元日に地震と津波の能登半島
罪もない子の命をかえせ

笹野 壽

◆津田校区 進誠会

酷暑すぎ秋の陽に茎のびし
曼珠沙華さくたゞ一輪のみ

田中 英代

 川柳

◆岩田校区 北岩田一区老人クラブふたば会
町内とうまく付き合う老二人

小椋かつ子

◆岩田校区 東岩田長寿会

印象がちよつと違うなマスクなし

千賀 芳彦

◆天伯校区 天伯シニアクラブ和みの会

「打て」大谷テレビの前の妻拳固けんこ

西川 誠

◆吉田方校区 若波会

笑点で笑ひころげる祖母たのし

河合 昭子

◆中野校区 中野おあしす会

名乗るより老人会は皆若い

彦坂 吉尚

コーヒーもさし湯してマジ2人分

彦坂くみ子

◆大清水校区 第一豊松会

年金が頼りの暮らし二十年

石川 重幸

こんきいと言いつつ歩く三河弁

彦坂 昌代

リニアなんてつまらぬ景色見ぬ間着く

鈴木 正子

◆大清水校区 第二豊松会

スクワット三日試して亜脱臼

藤村 元司

◆大清水校区 柳風会

夜桜に見とれた頃が花ざかり

平山 憲子

歳とってテレビの声は子守唄

仲井 丈二

出歩けばタッチパネルにセルフレジ

近藤 庸子

◆大清水校区 第一きさらぎ会

梅見ごろ桜だよりで春がくる

森 進吾

◆福岡校区 小池元町虹の会

耳遠く目も疎くなり老い覚ゆ

中野芙美子

◆大清水校区 第二きさらぎ会

畑仕事交互に使う鍬と杖

花井 博行

◆津田校区 西日進会

串刺しの枯木に蟋蟀冬支度こわろぎ

笹野 君夫

趣味の教室発表会

「趣味の教室発表会」を開催します。
ぜひお出かけください！



ブロック名	開催日程	開催場所
大清水ブロック	令和7年2月8日(土)	大清水地域福祉センター
牟呂ブロック	令和7年2月9日(日)	牟呂地域福祉センター
石巻ブロック	令和7年3月1日(土)	石巻老人福祉センター
高師ブロック	令和7年3月3日(月)	高師老人福祉センター
大岩ブロック	令和7年3月8日(土)	大岩老人福祉センター

※仁連木・つつじが丘・下地・八町ブロックは、今年度は開催しません。

原稿募集

- 校区活動、単位クラブ活動、俳句、短歌、川柳、随想などの投稿を募集します(写真を添付いただく場合はきれいなものをお願いします)。
- 原稿用紙600字。俳句・短歌・川柳については各1点ずつでお願いします。
- 原稿は、市内在住の市老連に加入している方に募集しています。必ず、校区名・単位クラブ名・氏名を明記してください。
- 紙面の都合上、やむなくカット・見送る場合があります。
- 締め切り／5月末日
- 投稿先／ゆたかクラブ豊橋事務局
(豊橋市今橋町1番地・豊橋市役所長寿介護課内)

TEL 0532・51・2337

ご協賛各位への御礼

本紙発行にあたりまして、ご協力いただきましたスポンサー各位に厚く御礼を申し上げます。「吉田春秋」は会員が生きがい・健康・教養を高めながら交流の輪が広がるよう願って刊行しています。今後とも倍旧のご厚誼・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

編集後記

吉田春秋をお届けします。リニューアルした今号にもたくさんのご投稿をいただき、ありがとうございます。広報文化部では、皆さま方のご意見・投稿などをお待ちしております。

今後も読みやすく楽しい紙面づくりに努力してまいりますので、よろしくご支援をお願い申し上げます。

ゆたかクラブ豊橋 広報文化部